

なんでも相談会 & インボイス制度個別相談会

要予約 TEL 03-3986-2471

5月のなんでも相談会は、税務・経営相談が26日(火)、法律相談も26日(火)です。ともに13時30分～15時30分まで(予約は15時まで)。30分刻みで要予約。顧問税理士、弁護士が相談に応じます。インボイス制度個別相談会も26日(火)に行います。



(購読料は組合費の中に含まれています。)
定価三十円

発行所
東京土建一般労働組合
城北ブロック会議
東京都豊島区西池袋5-22-15
電話 豊島 (3986) 2471
北 (5390) 6021
板橋 (3963) 5325
練馬 (3825) 5522
発行人 寺島 耕平
発行予定日 毎月4回
1日、9日、17日、25日

各分会が総会を開催 来年度の方針を確認

豊島支部の各分会で分会総会が開催がされました。分会総会は1年の取り組みの報告と次年度の方針を話し合う場です。各分会より総会を様子をお伝えいたします。

さくら分会

野本陽子通信員



3月23日、区民ひろば西巣鴨第一においてさくら分会総会を午後7時より開催しました。司会進行は澤田常任執行委員で始まりました。2025年度の取り組み報告を志村賃金対策部長が、分会の定例会議の確認と、2026年度の取り組み案を山田書記長からそれぞれ報告がありました。その後2025年度決算報告、及び2026年度予算案の提案が鶴崎財政副部長からありました。そして質疑応答に移りましたが、特に質問などありませんでした。最後に2026年度の新役員の選出、紹介があり、総会は終了しました。その後資格確認書類の配布に移り、支部書記より留意点の説明がありました。出席者は各群に分かれ、群長さんから資格証明書を受け取りサインして解散となりました。参加人数は26人でした。

上池袋本町分会

大嶋清子分会教宣部長



3月22日、区民ひろば池袋本町(旧文成小学校)で13時30分開会しました。参加は32人でした。若林分会長の挨拶のあと、第72回支部大会骨子、宮本委員長から資材不足や物価高騰、人出不足が続く中2025年も建設業は厳しい状況であること、「つながりづくり」を意識した訪問、対話を広げ結集軸でオルグ行動分会、群の強化を中心に取り組みが報告されました。

分会では住宅デーを11月に池袋だんだん公園で開催、組合員、家族、共同団体の協力、天候にも恵まれ充実の1日でした。土建国保を守るため3回のハガキ運動にもとりくみました。26年2月には屋形船懇親会に38人の仲間の参加、交流を深める充実した会になったことが確認されました。

2026年の取り組みについて、第49回住宅デー、分会交流会、分会レクリエーションで新加入者の参加をめざします。2025年度決算報告、2026年度予算案について井上財政部長と広瀬会計監査の報告があったほか、新役員の選出は拍手をもって承認されました。最後に、新役員の伏見智美さんによる閉会の挨拶をもって、総会は15時に終了しました。

南池袋分会

新井睦子分会教宣部長



3月27日(金)午後7時より雑司が谷地域文化創造館で開催されました。書記1人含め33人の参加でした。

太田分会長の挨拶の後、山川分会書記長より第72回支部大会の骨子に続いて、25年度のとりにくみ経過、分会の定例会議の確認と26年度のとりにくみ案が読み上げられました。次に、梅澤純子財政部長から25年度決算報告、26年度の予算案の提案がありました。新井会計監査より監査報告があり、質疑応答の後、拍手で承認されました。

26年度の新役員の選出があり、拍手で承認されました。梅澤副委員長の閉会の挨拶で終了しました。総会終了後、資格確認書が配布されました。

椎名町分会

田中承宏分会教宣部長



3月27日、椎名町分会総会・資格確認証交付会を開催しました。会場は例年通り南長崎第4区民集会室、45人が参加しました。

前段の分会総会では、2025年度の活動報告をおこないました。椎名町分会では後継者対策部、女性の会、豊寿会にそれぞれ予算を付け旺盛に活動してもらっていて、25年度はゴルフ交流会や食事会などの取り組みが報告されました。

続いて決算・予算の提案、次年度の方針を提案。特筆すべきは分会レクで、豊島支部70周年を迎えるにあたって、椎名町分会では1泊の分会レクを提案しました。最後に、次年度の役員体制を確認。議案・予算を含めた提案は全会一致の拍手で承認されました。

後半の資格確認証交付会では、マイナ保険証の連携不備などで紙の資格確認証が必携であること、不備の続くマイナ保険証ではなく、紙の資格確認証の一式交付を実現させたい思いを伝えながらの交付会となりました。

役員の手不足が叫ばれる中、なんとか次年度を迎えることが出来ました。今年度は新たな仲間、役員の発掘を積極的におこない活発な分会をめざし実増へ向け、新体制で出発しました。

池袋分会

分会担当書記



3月22日、支部会館3階で14時に開催しました。参加は20名で、遅れて資格確認証だけ受け取りに来た方が2名いました。

2025年度の活動内容を白井分会長が報告、特に社会保障対策の活動でのハガキ要請行動で、400%を達成したとの報告には力が入りました。厚労省、東京都、財務省と3度にわたってハガキ要請行動に協力してくれた仲間達に白井分会長からお礼が寄せられました。つづいて2026年度の運動方針、池袋分会の行動日程の提案をして拍手で決議されました。資格確認証、資格のお知らせ(元保険証)を当日渡せなかった、組合員の書類の扱いについては群で保険証交換会の日程を改めて設定することとしました。

かなめ分会

分会担当書記



3月28日、支部会館で開催の、分会代表・玉木財政部長のあいさつから始まったかなめ分会総会は、2025年度の取り組みについての報告、特に組織拡大では厳しい情勢の中でも実増したこと、数年ぶりの千早フラワー公園開催となった住宅デーでは、初参加組合員に加え、多数の来場者により大きく成功したことが上げられました。

2026年度運動方針案、続いて2025年度決算・2026年度予算案が提案されました。合わせて新分会役員の選出も行われ、総会参加者25名全員の拍手で採択されました。大浦支部書記長からは、引き続き分会の発展を広げること、分会・群の組織強化が重要との発言があり、新年度に向けての意思統一の場となりました。



第72回

豊島支部 定期大会開催

2026年4月5日、イケビズに於いて第72回豊島支部定期大会を開催しました。代議員67名、特別代議員7名が参加し、代議員定数74名の過半数に達したことで組合規約に基づき、大会は成立しました。

今回の議長は、伏見智美さん(上池袋本町)と伊勢村邦彦さん(池袋)が、大会運営委員長を原田陽弘常任執行委員(かなめ)が務めました。

来賓挨拶のあと、大浦書記長より2025年度活動報告と26年度方針案が、乗山財政部長より同決算報告と予算案が提起されました。

それらの後の質疑応答では、豊島区公契約条例制定は大きな前進であるが、一方担い手3法への取り組みはなかなか進まない。100万署名の成功をはずみとして担い手三法を実行性のあるものにするために、取り組みも一歩踏み出す必要がある。豊島区内にある事業所を集めて、説明会

や学習会を開催し、具体的にまず担い手三法はどういうものかと言うことを知らせる運動が必要などの意見がでました。また、豊島区公契約条例において、最低賃金を1,500円として大幅な賃上げに繋がるとの説明だったが、今大会の議案にもあるように、18,000円の賃金報酬を要求しているので1,500円などと言わず、もっと賃上げを訴えて欲しいとの声がありました。また、イラン情勢の影響で原油が入らなくなることで、塗料や防水材が入らなくなる、仕事ができないという仲間の声があれば、組合としても何とかしなくてはいけない。議案には無いがそうした可能性についても意見を交わして欲しいとの切実な意見もでました。

昼食休憩をはさみ、午後1時から6つに分かれて分科会を開きました。各専門部ごとに、午前の活動報告、決算報告や、新年度方針、予算案に関す

大会アンケートに寄せられた感想・意見

- 欠席が多くまた、毎年同じ顔触れだ
- 拡大の難しさを認識、声の掛け方を考え、諦めず声掛けていきます。
- 各会の旗がアイロンがけされていたら良いと感じた
- 豊島区公契約条例制定を大変うれしく思う。その実効性を見守っていかねればと思う。
- 土建全体で組織人数が減少し、大会参加者も減少している。チラシなど、再考しなければと思う。
- 分科会の時間が足りない。
- 石油製品、生成物(材料)が手に入らなくなっている。組合として声を挙げ対応して欲しい。
- 活発な意見が出て勉強になった。拘束時間が長すぎる。
- 決算報告書、予算案は当日見せられてもよくわからないので質問もできない。
- 毎年のことだが、時間の短縮に努めた大会内容にしてもらいたい
- 昼食の弁当が美味しく無かった
- 若手の参加が少ない。特別代議員を増やして、若手の参加を増やす努力を。
- 組織強化の意見が多かったが、拡大についての意見が少なく寂しかった。
- 第4分科会と第5分科会の報告内容が重複しているので、統合してはどうか。
- 田村書記が参加していて、他支部(田村書記出身支部)の話が聞けて良かった。

2026年度 新四役・常任

執行委員長	宮本卓廣(上池袋本町)
副執行委員長	遠藤正行(上池袋本町) 梅澤光法(南池袋) 乗山浩司(椎名町) 土橋弘典(さくら)
書記長	大浦康昭(かなめ)
書記次長	寺島耕平 瀬谷祐太 駒谷雄太
常任執行委員	澤田剛(さくら) 川田英明(南池袋) 藪田健二(南池袋) 伊藤寿(池袋) 鈴木公一郎(池袋) 原田陽弘(かなめ) 佐藤和也(椎名町) 竹鼻三枝(女性の会) 和田知樹(青年部)

る共通話題と、専門部の課題について意見を出し合いました。

6分科会が選出した6人の報告書により分科会報告が終了し、1日を通しての質疑応答のあと、2025年度活動報告、決算、繰越金処分案及び、2026年度活動方針案、予算案を全体の拍手で採択しました。新年度役員立候補では、各候補者数が定数内であることから無投票当選を認め、新年度役員が決まりました。最後に遠藤副



大会議長の伏見さん(左)と伊勢村さん(右)

委員長の合図で「団結ガンバロウ」を力強く唱和して、5時30分には全ての議事を終了しました。

豊寿クラブ総会

「感謝でつなぐ次世代へのバトン」

野本陽子 豊寿クラブ会長・さくら分会

3月18日、10時より支部会館において第21回豊寿クラブ総会が開かれました。2025年の総括、2026年度の方針提案、会計報告、予算案提案、その後質疑応答に移りました。今年度は3年ごとの新役員選出の年に当たります。その役員選出の方法について、いくつか質問がありました。中でも「同じ人が巡ってするのではなく、若い人を選出するのはどうか?」。それに対し「豊寿クラブは65歳から入れるが、その年代の会員はまだ現役で働いている人が多く、幹事になる事は難しいのではないか」、「今のままで良いのではないか」など多くの活発な意見をいただきました。



笑いごとではすみません、詐欺の手口をしっかりと伝授

食事懇親会の前には、三遊亭吉馬さんによる落語で、好評だった昨年に引き続き悪徳商法に関するお題でした。電話による勧誘で、訪問販売などの手口に騙されないようにと笑いを交えて、参加者に注意喚起してくれました。

豊寿クラブの活動は現役で働く組合員が参加できない、昼間や夕方への行動、拡大行動など多くの行動に協力、参加しています。今年度は会長、副会長、事務局長の3人が全員女性になりましたが、偏った考えにならないように幹事の方々の意見を交えて進めていきたいと思っています。今年度のスローガンは「感謝でつなぐ次世代へのバトン」とし文字どおりバトンをつなげていきます。参加者は38人でした。

地域をつなぐ子ども食堂

「ホットハウス」

増田佳世(池袋分会)



子ども食堂「ホットハウス」は、月に1回、地域の子もたちや大人が集まり、あたたかいごはんを囲む場所として活動しています。

以前より子ども食堂への関心があり、「孤食」をしている子どもや高齢者、地域の方々が気軽に集まれる場をつくりたいという思いから、この取り組みを始めました。

2024年8月には豊島支部3階でトライアル開催を行い、町内会の方々にもご来場いただきました。さらに12月の餅つき大会では豚汁の提供を行うなど、地域の方々と交流する機会を重ねてきました。現在はスタッフ4名と組合員ボランティアの協力のもと活動を続けており、昨年度は多くの皆さまのご理解とご協力により継続して開催することができました。

活動を通して感じているのは、子ども食堂が食事の場であるだけでなく、地域のつながりを生み出す大切な場であるということです。子どもたちや地域の方々が気軽に立ち寄り、自然に会話が生まれるような温かい居場所づくりをこれからも大切にしていきたいと考えています。

今後は、毎月の開催を安定して続けながら、夏祭りなどの季節のイベントも取り入れ、地域の方々がより楽しく交流できる機会をつくっていきたくと思っています。子ども食堂「ホットハウス」が地域の人と人をつなぐ場となるよう、これからも活動を広げていきたいと考えています。引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。